

図画工作科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> ○○○○○ ○○○○○○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○対象や事象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して気付くことができるようにどのような工夫がされているか。 ○手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりできるようにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○創造的に発想や構想できるようにどのような工夫がされているか。 ○自分の見方や感じ方を深めたりすることができるように、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うために、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫> ○〔共通事項〕の十分な指導が行われるように、どのような工夫が見られるか。 ○言語活動の充実を図る上で、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <用具の安全な取扱いについて指導するための工夫> ○材料や用具の安全な取扱いについて、どのような工夫がされているか。 </p>	
資 料	○発想を高めるために、どのような工夫が見られるか。 ○基礎的・基本的な内容や表現の過程に関する資料について、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○タイトルの示し方や図版等の説明について、どのような工夫が見られるか。 ○説明の文章や児童作品等の作者の言葉について、どのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	9 開隆堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○自分の感覚を通して表現技法や材料、用具を選んで取り組みたくなるように題材が工夫されている。 ○題材で使用する用具の安全な使い方や表現技法の説明が、題材ページや巻末に示されている。また、思いに合わせた表現技法を選んでいることが児童のコメントなどで分かるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○創造的に発想や構想することができるように、児童の製作過程の情景写真では、吹き出しを使って児童の思いを掲載する工夫がされている。 ○自分の見方や感じ方を深められるように、作者のコメントを掲載したり、立体作品を色々な方向から鑑賞したりできる工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○様々な材料や場、表現方法が題材に取り入れられている。楽しく豊かな生活を創造する態度を養うために、身近な人々や社会と関わる場面が例示され、SDGsに関するコラムを設け、社会生活とのつながりを感じさせる工夫がされている。 </p> <p> <表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫> ○〔共通事項〕の十分な指導が行われるように、QRコードでの動画を使って、児童のイメージを広げたり、製作意欲を喚起したりする工夫がされている。 ○参考作品に、形や色などの特徴や、作り方のイメージを捉えやすくするための説明が示されている。 ○表現と鑑賞の一体化を図りながら言語活動を促せるよう、自分の思いを言葉にするための発問や、他者と活動する児童の様子を、写真と吹き出しで示す工夫がされている。 </p> <p> <用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫> ○「用具や材料を知ろう」や題材の中で、写真やイラストを使い、用具の使い方が説明されている。また、QRコードを読み込むことで動画でも使い方が理解できるように工夫されているとともに、安全性についても囲みを設けて示されている。 </p>	
資 料	<p> ○QRコードを通して、用具の安全な使い方や作り方などの動画や教科書に掲載した作品以外の参考作品を見たり、発想や構想、振り返りなどに使えるワークシートをダウンロードし、利用できたりするようように工夫されている。 </p> <p> ○冒頭に作家作品や学びの意義がメッセージとして掲載されている。また、SDGsマークや題材に関わるSDGsの取組や作品が紹介され、環境へ配慮されている。 </p> <p> ○ICT端末の活用については、「タブレット端末を使おう」で紹介されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○題材で育てたい資質・能力に沿った「学習のめあて」を明示するとともに、中心となるめあてについては強調して示されている。また、めあてに沿ったキャラクターが学習のポイントを投げかけ、学習が深められるように工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○QRコードを通して題材との関わり方を説明することで、造形的な活動が広がるように工夫されている。 </p> <p> ○他教科とのつながりを具体的に示されている。また、作家や職人、海外の伝統文化とのつながりが写真やふきだしを使って紹介され、キャリア教育の視点も踏まえ、自分たちの学びを社会全体へ広げていくように工夫されている。 </p>	

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料や素材の扱い方が示されており、自分の感覚を通して題材に取り組みたくなるように工夫されている。 ○題材ページや巻末で用具の使い方や表現技法の説明が示されている。また、題材ページで制作の手順や組み合わせ方、児童のつぶやきを示すことで、思いに合わせて用具や技法を選べるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○創造的に発想や構想することができるように、児童の思いや製作過程が分かる情景写真を掲載する工夫がされている。 ○自分の見方や感じ方を深められるように、多様な角度から色や形の特徴を捉えられる資料や、題材ページの掲載が工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料や場、活動方法が幅広く題材に取り入れられている。児童の感性を育むために見方や感じ方について考えさせる工夫が取り入れられ、伝統的なものの美しさや、社会生活とアートとのつながりを感じさせるように工夫されている。 <p><表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○〔共通事項〕の十分な指導が行われるように、製作過程が写真で示されており、児童のイメージを広げたり、製作意欲を喚起したりする工夫がされている。 ○参考作品の形や色などの特徴や、作り方、イメージをとらえやすくするために、鑑賞のヒントが示されている。 ○表現と鑑賞の一体化を図りながら言語活動を促すために、各題材のタイトルの下に児童の対話を引き出す発問や、他者と活動する児童の様子を、写真と吹き出しで示す工夫がされている。 <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「材料や用具のひきだし」や題材の中で、写真やイラストを使い、用具の使い方が説明されている。また、QRコードを読み込むことで動画でも使い方が理解できるように工夫されているとともに、安全性についても囲みを設けて示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードから用具の使い方や仕組みのつくり方などを動画で確認することができるように工夫されている。 ○情景写真や作品コメント、ふきだしの言葉など、実際の授業で行われたものが掲載され、活動や作品に関して児童がイメージしやすいように工夫されている。 ○ICT端末の活用については、活動例を示しながら紹介されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のめあて」は3観点を5項目に細分化し、育てたい力が明確に示されている。また、めあての5項目はそのまま評価規準の観点につながり、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な作品を掲載したり、児童の発言や作者のコメントを掲載したりすることで、造形的な活動が広がるように工夫されている。 ○児童の活動の様子や、学習の流れを写真を通して分かりやすく示されているとともに、地域や伝統文化とのつながりを感じさせる場面が紹介され、楽しく豊かな生活を創造する心を育てられるように工夫されている。 	

図画工作科 調査資料2

○分量について

内容	学年	開隆堂	日文
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1・2年上	64	68
	1・2年下	64	64
	3・4年上	64	64
	3・4年下	64	64
	5・6年上	64	70
	5・6年下	68	68
2 材料や場所などを基に造形遊びをする活動のページ数	1・2年上	8	10
	1・2年下	8	7
	3・4年上	6	6
	3・4年下	6	6
	5・6年上	4	4
	5・6年下	4	6
3 絵や立体、工作を題材にした内容のページ数	1・2年上	36	28
	1・2年下	36	32
	3・4年上	36	30
	3・4年下	36	28
	5・6年上	34	34
	5・6年下	32	32
4 鑑賞を題材にした内容のページ数	1・2年上	6	10
	1・2年下	6	9
	3・4年上	8	11
	3・4年下	8	16
	5・6年上	12	17
	5・6年下	12	13
5 材料や用具の扱いに関する内容のページ数	1・2年上	6	8
	1・2年下	6	8
	3・4年上	6	8
	3・4年下	6	8
	5・6年上	6	8
	5・6年下	6	8
6 QRコードの数	1・2年上	31	37
	1・2年下	31	37
	3・4年上	30	38
	3・4年下	30	37
	5・6年上	30	39
	5・6年下	28	35

○作者別作品数について

内容	学年	開隆堂	日文
1 児童の作品数（製作過程の作品は除く）	1・2年上	76	71
	1・2年下	81	70
	3・4年上	78	64
	3・4年下	86	73
	5・6年上	81	83
	5・6年下	84	99
2 日本人の作家の作品数	1・2年上	2	0
	1・2年下	3	4
	3・4年上	4	5
	3・4年下	6	12
	5・6年上	6	17
	5・6年下	12	10
3 外国人の作家の作品数	1・2年上	0	0
	1・2年下	0	2
	3・4年上	3	1
	3・4年下	4	5
	5・6年上	7	14
	5・6年下	6	6
4 その他の作品数（文化財、民芸品等）	1・2年上	1	0
	1・2年下	4	0
	3・4年上	5	1
	3・4年下	1	7
	5・6年上	4	8
	5・6年下	17	18